

会 議 録

会議等の名称	第1回東御市スポーツ推進審議会	開催日時	平成 30年 8月 9日 (木) 午後 1時 10分～ 午後 3時 00分
		場 所	勤労者会館2階 大会議室
主催者(事務局)	企画振興部 文化・スポーツ振興室	司会者	企画振興部長及び横田会長
出席者	<p>[委員]</p> <p>神津 志保美 元スピードスケート バンクーバーオリンピック代表 横田 匡俊 日本体育大学 スポーツマネジメント学部准教授 岡田 真平 公益財団法人身体教育医学研究所所長 小野山 洋身 東御市区長会副会長 唐澤 光章 東御市高齢者クラブ連合会会長 木下 智宏 東信教育事務所生涯学習課指導主事 篠原 博文 東御市スポーツ少年団本部長 関 豊春 東御市障害者団体協議会会長 中堀 雅夫 東御市体育協会副会長 早川 一夫 (一社)信州とうみ観光協会事務局長 廣田 美和子 社会教育委員副議長 依田 恵子 東御市スポーツ推進委員 三溝 和子 一般公募 武田 順子 一般公募</p> <p>[アドバイザー]</p> <p>柳沢 和雄 筑波大学体育系教授</p> <p>[オブザーバー]</p> <p>小淵 和也 (公財)笹川スポーツ財団 スポーツ政策研究所主任研究員</p> <p>[庁内関係課]</p> <p>吉澤 健二 福祉課長 小松 信子 健康保健課長 瀬下 澄仁 商工観光課長 横関 政史 生涯学習課長 柳澤 秀夫 教育課長</p> <p>[事務局]</p> <p>岩下 正浩 企画振興部長 勝山 修 文化・スポーツ振興室長 中村 昌彦 文化・スポーツ振興係長 荒井 宗武 文化・スポーツ振興係事務担当 上藪 美千代 文化・スポーツ振興係 (地域おこし協力隊)</p>		
欠席者	関口 順子 (委員) 小・中学校長会 (滋野小学校教頭)		
議題等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委嘱書交付 ・ 委員及び構成員紹介 ・ 東御市スポーツ推進審議会について ・ 役員の選任 ・ 諮問 		
決定事項 (要点を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役員決定 会長：横田 匡俊氏 職務代理者：依田 恵子氏 		
次回への検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局からスポーツ推進計画 (素案) を提示し、審議 		

討議内容及び経過	発言者名	発言内容（要点のみ記載）
1 開会	企画振興部長	
2 委嘱書交付		副市長から委嘱 ※代理
3 市長あいさつ		副市長あいさつ ※代理
4 自己紹介		各自自己紹介
5 東御市スポーツ推進審議会について		事務局説明
6 役員の選任		互選の結果、会長 横田匡俊氏、職務代理者 依田恵子氏に決定
7 諮問		副市長から横田会長へ諮問書提出
8 審議事項 (1)諮問について	会長	会長あいさつ 日本のスポーツの転換期、新しい在り方が求められている。
	委員	市が実施したアンケート調査では子どものデータが抜けている。東御市の実情が分かるデータのまとめを教育委員会が進めている。障がい者スポーツのニーズや現状に関しては全体像がつかめていない。福祉と相談しながら、障害者福祉計画などの中で参考になるようなデータがあれば、視野に入れて進めてほしい。
	事務局	内部会議の中で連携を取りながらこの計画に取り込んでいきたい。
	委員	資料2の計画におけるスポーツの範囲。どこからどこをよりどこにスポーツを定義するのか？日本体育協会が日本スポーツ協会に名前が変わった。スポーツという言葉はどうとらえる。
	アドバイザー	スポーツの定義として狭い意味と広い意味がある。狭い意味はあそびを分類。スポーツというのは競争のあそびが組織化されたもの。身体的技量の競争という意味合い、競技スポーツをイメージ。広い意味は1975年にヨーロッパのスポーツ憲章で意図的な身体活動と提唱されている。一般的にスポーツというと狭い意味の競技スポーツがイメージされる。
	会長	万人のよりどころとなる定義は議論しながら決めていけばいい。東御にとってどういうスポーツがいいのかが着地点ではないか。
	委員	将来のニーズに応える為には、ハードではなくソフト作りだと思う。各種目において将来を見据えた指導者育成なしでは活性化はない。指導者育成のための企業協力をお願いしたい。
	会長	スポーツ推進体制は行政だけでなく、色々なところが協力が出来る。書き込みが出来れば良い。
	委員	スポーツの範囲を可能な限りで文章に明記する。競技だけがスポーツでないという所を明確にするためにも、きっちり記していくべき。
	会長	素案で皆さんのご意見を頂きながら作り上げていく。
	委員	障がい者には色んな障がいがあり、スポーツの内容も規模も変わる。障がいによってどういう形でスポーツを推進していったらいいか。学校との関係、連携も重要。
	事務局	障がい者別のデータは無く、関係団体とのヒアリング等の中で実情把握に努めたい。学校教育との繋がり、学校の体育、部活動の在り方、支援の仕方は進めていきたい。
	委員	スポーツや文化にお金を払って楽しむ時代。スポーツを楽しむためには場と指導者がマッチングしていないと上手く進まない。どう推進委員や行政が広めていくかが重要。これからは総合型スポーツクラブが重要。東御市にも立ち上げが必要となる。立ち上げる場合は中心になる人や団体が必要。
委員	東御市は体育協会が1市民、1スポーツという形で総合的にスポーツを支援する状況があったが、クラブが組織化していかなかった。総合型の理念を一度吟味し、地域としてスポーツを楽しめるような環境作りとして総合型の役割もあると思う。スポーツ推進計画の策定において、クラブが立ち上がる可能性が謳われると良い。	
会長	これまでの事例に縛られずに東御市らしいクラブ作りが出来たら良い。	

討議内容及び経過	発言者名	発言内容（要点のみ記載）
8 審議事項（続き）	委員	運動部活は学校現場だけでやっていくには限界がある。指導員を入れていく形がいいのかなと思っている。地域に根差した指導者が指導する事が競技力、質の向上に繋がっていく。
	委員	競技力の向上を考えた時に東御市の特色、一番強いスポーツは何か。指導者の資質にもよるが、ある程度絞らないと強化という面では特色が出ない。スポーツの裾野を広げる為にも指導者を育成しないと難しい。ボランティアになってしまうと20代、30代、40代が係れない。空いている時間の指導になると底辺拡大には弱い。
	会長	東御市として何を指すのか、考える必要がある。指導者として外部の人材を積極的に活用することも視野に入れていくべき。
	委員	スポーツを継続するには勝敗だけでなく、披露する機会があるとよい。
	会長	継続する為の仕組み、仕掛けが必要。
	委員	湯の丸を活かしたイベントを考えて、経済が活性化する仕組みが必要。参加費をもらいイベントを運営する方向で考えてはどうか。指導者や地域ぐるみのボランティアを育成する仕組み。定年後のボランティアとして活躍の場を。
	委員	高齢者でも、60代70代は現役であるが、70～80代の高齢者スポーツというマレットゴルフや、ゲートボールに限定されてしまう。 この年代は病院通いしている人が圧倒的に多いが、スポーツによって健康づくりをする事が理想的。継続的に指導してくれる組織があると良い。
	会長	健康長寿は重要な点。
	委員	スポーツ少年団の団員数の確保が難しい。小学生になった段階で運動嫌い。外あそびの経験が希薄。幼保で運動、外遊びの楽しさを伝えないと小学校の段階では遅い。 保育園や小学校の先生が審議会の中に加わってもらえるといい。現場で子どもに触れている先生が理解しないと実践にならない。
	委員	スポーツに係わりたくても係われない人もいる。関わるきっかけが持てない人達をどう引き込むかが底辺拡大に必要。ボランティアで指導者育成は難しい。
	(2)その他	
9 その他	オブザーバー	将来を見据えた計画策定を期待する。ここにいない人の意見が反映されるよう、スポーツに関する意見交換会の同時実施を支援する。
10 閉会	職務代理者	職務代理者あいさつ